



# 少年オーディナ 14

イオマンテ  
の夜

えと文

谷田部風太郎

みんなは薦が一人で敵に取  
囲まれたまま戻つて来ないので  
騒ぎました。そして若者を先頭  
に敵の方へ進んで行きました。  
「おい、薦をどうしようと  
云うのだ。何の遺恨があつて攻  
めよせただ」

敵と味方は再び向きあつてこ  
らみ合いました。静かな廣場には  
殺氣がひしひしただよいま  
す。

薦は終死不渝の味方をな  
だめました。「待つてくれ、みんな。  
これにはわけあるのだ。無益な争い  
はやめ、わしに任してくれ  
れよせただ」

薦は終死不渝の味方をな  
だめました。「わしがこの人たちと一緒に行  
くが、必ず帰つて来るから心  
配せんない。副薦長あるの  
じとばつのむからな」

薦は薦の言葉が終るや終  
らないちに、薦をひきつるよ  
うにして詫びだしました。

薦は一度も振り向いたことは  
しませんが、そ  
が間の中に消え  
てしまふと、い  
きり立つた人々  
は後を追おうと  
しました。それ  
を今度は副薦長  
がささきりまし  
た。

その人はある  
ぶるあるえながらないでいま  
す。だれの胸にも痕しそうな薦  
長の声がしみこんで、はらわた  
をあざられるように切ないで  
した。薦長は部隊を救うために  
自ら敵にとらわれたのだ。人々  
はこの老薦の無事さ、神

の恩をささげた。はらわた  
をあざされるように切ないでいま  
す。だれの胸にも痕しそうな薦  
長の声がしみこんで、はらわた  
をあざされるように切ないで  
した。薦長は部隊を救うために  
自ら敵にとらわれたのだ。人々  
はこの老薦の無事さ、神

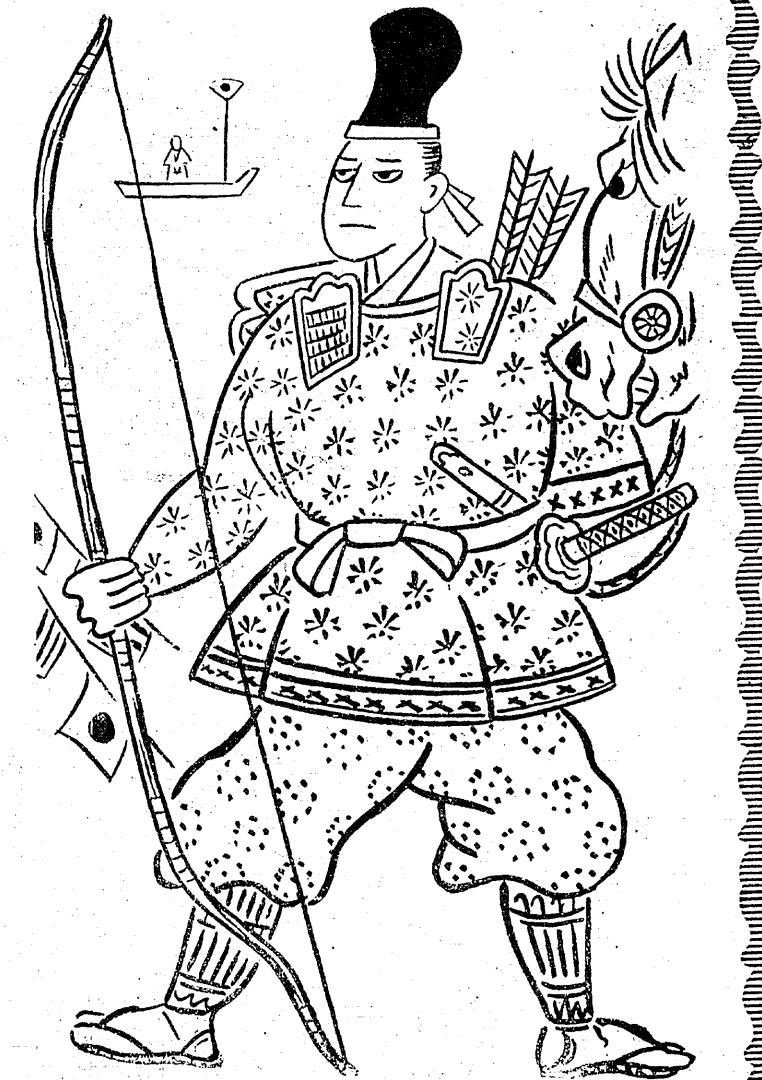


れば、残されたものは悲しみだ  
けです。みんな副しの長の家に  
集つて塗方へ歩いてしまった。  
「悲しみがむいちだもならない  
相談してみましたの老人は若  
い頃して長のシコバチをつれて  
この部落へ逃げて来た家来の  
です。もう大分年よりで歩く  
をなぐらました。はみんなを  
りうかし、心配しないで家へ帰  
りうかし」

副しの長はそういうつてみんな  
をなぐらました。はみんなを

相談してみましたの老人は若  
い頃して長のシコバチをつれて  
この部落へ逃げて来た家来の  
です。もう大分年よりで歩く  
をなぐらました。はみんなを

# 東山松が岡遊園地



しみじみと生きている喜び  
を感じさせることなくらと  
秋の菊!

年に一度は日本に生れた幸  
せを想い菊の花の高い香り  
で胸をふくらませましょ  
う

お子さまの情操教育に  
ぜひ菊人形展へ!

## 三和新報社・磐陽菊花会・平市

後援 磐城市、常磐市、内郷市、勿來市  
平観光協会、平商工会議所、県教委出張所  
平市教育委員会、平商店会連合会



！那須の市  
婦系図

(源平屋島合戦扇の場)  
主税



